

令和六年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の課題文を読んで問一と問二に答えなさい。

問一 課題文は「代議制民主主義にたいする不信」、「現代民主主義の機能不全」に対する一つの解決策を提案している。現在の代議制民主主義（議会制民主主義）や民主主義（民主政治）がどのような問題を抱えているのかについて、具体例をあげながら、四〇〇字以上、六〇〇字以内であなたの考えを述べなさい。

問二 民主政治の再生のために二重代表制（選挙制と抽選制の二院制）等の抽選制を導入することについて、四〇〇字以上、六〇〇字以内であなたの考えを述べなさい。ただし、日本国憲法が選挙型議会制民主主義を採用すること（後掲関連規定参照）に留意して解答しなさい。

非公開

非公開

非公開

（岡崎晴輝「選挙制・任命制・抽選制」 瀧川裕英編著『くじ引きしませんか？ デモクラシーからサバイバルまで』、信山社、二〇二二年、六三～七六ページ、抜粋・一部改変・本文中の引用文献の記載を省略）

〔注釈一〕熟議型世論調査… 英語 *deliberative poll* の訳語で討議制意見調査とも呼ばれる。アメリカの政治学者が考案した世論の調査方法で一九九四年にイギリスで初めて実施された。治安・移民・住宅・健康保険等の公共政策の諸課題について、無作為に選ばれた数百人の参加者が十分な情報提供を受けて小規模単位で討議を重ねてから全体会議を行い、その間の意見の変容を見るところというもの。

〔注釈二〕計画細胞… ドイツ語 *Planungszelle* の訳語である。一九七〇年代からドイツで採用されている制度であり、市民の中から無作為に選ばれたメンバーが少数数の基本単位（細胞）に分かれて都市の再開発計画やエネルギー供給、レクリエーション構想等の地域の諸課題について討議する。討議に基づいて作成された提言が計画策定の指針とされる。

関連規定

日本国憲法前文第一段

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

同第四三条第一項

両議院は、全国民を代表する選挙された議員でこれを組織する。

同第九三条第二項

地方公共団体の長、その議会の議員及び法律の定めるその他の吏員は、その地方公共団体の住民が、直接これを選挙する。

令和六年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文試験の出題意図は、本学科受験生が、現代社会の抱える政治的・法的課題に対する関心・知識、理解力・分析力、及び他者への説明能力をどの程度持っているのかを見ることにある。

問一は、議会制民主主義、政党政治、選挙制度等の基礎的な学習事項に関する知識を用いて、現代民主政治の抱える問題について、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているのかを問う出題である。

問二は、課題文の内容を踏まえた上で自分自身の考えを説得的に説明することを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に学ぶ意欲を有しているのかを問う出題である。